

中小企業成長支援ファンド
「リアルテックファンド4号投資事業有限責任組合」
に出資を行う組合契約を締結

独立行政法人中小企業基盤整備機構（理事長：豊永厚志 本部：東京都港区）は、ファンド出資事業（中小企業成長支援ファンド）において、リアルテックファンド4号有限責任事業組合を無限責任組合員とする「リアルテックファンド4号投資事業有限責任組合」に対し、中小機構出資分として30億円を出資することで合意し、組合契約を締結いたしました。

「リアルテックファンド4号投資事業有限責任組合」は、地球や人類の課題解決に資する革新的テクノロジー（リアルテック）を有するディープテック・スタートアップへ投資を行い、研究やモノづくりを支援する地域のパートナーと連携した支援を通じて、地方から世界へ飛躍する企業の創出・社会課題の解決を目指すファンドです。

中小機構では、本ファンドへの出資を通して、地方に数多く存在する優れた技術シーズの事業化・社会実装を促進し、投資先の成長支援を通じた地方創生／社会課題の解決に貢献できるものと考えております。

引き続き中小機構では、全国9カ所の地域本部等が有する支援ツール等を最大限に活用しながら、中小企業を支援して参ります。

<独立行政法人中小企業基盤整備機構（中小機構）>

中小機構は、事業の自律的発展や継続を目指す中小・小規模事業者・ベンチャー企業のイノベーションや地域経済の活性化を促進し、我が国経済の発展に貢献することを目的とする政策実施機関です。経営環境の変化に対応し持続的成長を目指す中小企業等の経営課題の解決に向け、直接的な伴走型支援、人材の育成、共済制度の運営、資金面での各種支援やビジネスチャンスの提供を行うとともに、関係する中小企業支援機関の支援力の向上に協力します。

<本件に関するお問い合わせ先>

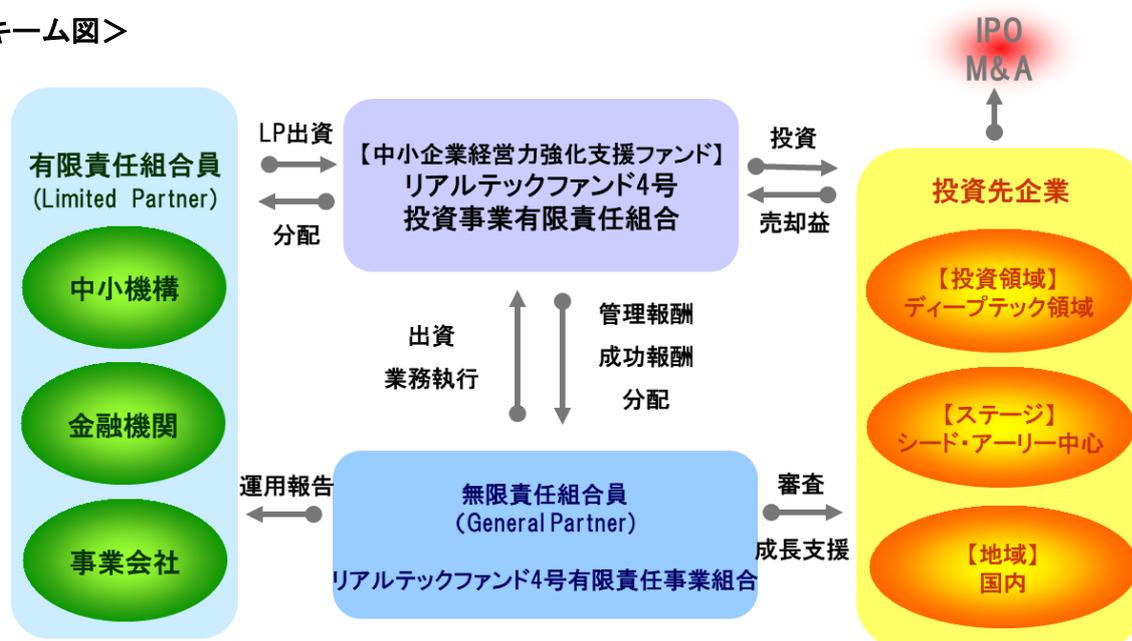
独立行政法人 中小企業基盤整備機構
ファンド事業部 ファンド事業課（担当者：荒木、林）
住所：東京都港区虎ノ門3-5-1 虎ノ門37森ビル
電話：03-5470-1673（ダイヤルイン）

◆「リアルテックファンド4号投資事業有限責任組合」の概要

- 「リアルテックファンド4号投資事業有限責任組合」は、リアルテックファンド4号有限責任事業組合を無限責任組合員として設立されたディープテック投資ファンドです。本組合は引き続き出資者の募集を行うことで、総額100億円のファンド規模とすることを目標としております。
- 革新的テクノロジーを有する、ロボティクス、エレクトロニクス、アグリ、環境・エネルギー、新素材、航空宇宙、医薬・医療機器、AI、IoT分野の優れた研究開発ベンチャーへのシード・アーリー期の投資により、社会課題の解決と地域産業を活性化することを狙っています。

無限責任組合員であるリアルテックファンド4号有限責任事業組合は、ディープテック・スタートアップが直面する数々の苦難を乗り越えたメンバー（永田 暁彦、丸 幸弘）を中心として、本組合の組成に伴い設立されました。

<スキーム図>



<制度の内容及び実績について>

中小企業成長支援ファンドについて

https://www.smrj.go.jp/doc/supporter/supportter_fund_investment_02.pdf

中小機構ファンド出資実績

https://www.smrj.go.jp/doc/supporter/supportter_fund_investment_04.pdf